



しばやま花いっぱい運動 たくさんの花でお出迎え

問 まちづくり課 都市環境係 ☎77-39008

「しばやま花いっぱい運動」は花壇の花植えや、はにわ祭に向けた花植えイベントなどを行っています。

第1回目の活動は、はにわ道沿いの花壇の花植えです。ご協力くださる参加者を募集します。町を美しい花でいっぱいにしましょう。

■日時 6月6日(土) 午前9時～(小雨決行、荒天の場合は6月7日(日)に延期します)

■集合場所 芝山町役場南庁舎前

※当日は、動きやすい格好でお越しください。植える道具(シャベルなど)・タオル・軍手をご用意できる方はご持参ください。



3月27日に行われた花いっぱい運動

5・6月は赤十字運動月間です ～人間を救うのは、人間だ。～

日本赤十字社千葉支部では、「人のいのちと健康、尊厳を守る」という使命のもと、世界189の国と地域に組織されている赤十字・赤新月社と連携し、国内の災害時における救護活動や国外の紛争・自然災害・病気などで苦しむ人々への救援活動だけでなく、その後の復興支援や防災・予防などの開発協力など、さまざまな人道的活動を行っています。

これらの人道的活動は、多くの皆さまの温かい善意によって支えられています。

活動資金へのご協力をお願いします。

■問合せ

日本赤十字社千葉県支部

☎043-241-7531

<http://www.chiba.jrc.or.jp>

山武地区手話奉仕員養成講座 (後期)

聴覚障害、聴覚障害者の生活などについての理解と認識を深め、手話で日常会話を行うのに必要な手話語彙および手話表現技術を習得します。

■実施期間 7月6日(月)～平成28年2月29日(月)
全27回 午前10時～正午

■対象 手話奉仕員養成講座(前期)修了者(山武郡市内に在住または在勤、在学の方)

■会場 山武郡市振興センター(東金市)

■募集期間 5月1日(金)～5月29日(金)

■定員 30人

■受講料 無料(別途自己負担あり)

■修了条件

- ・講義・地域講座の全回出席
- ・実技講座：80%以上の出席
- ・地域活動参加：行事参加は規定数以上の参加

■申込み・問合せ

(福)千葉県聴覚障害者協会

千葉聴覚障害者センター

☎043-308-6373 FAX043-308-6400



子育てママのための 子育て相談

問 保健センター ☎77-1891

主に子どもの成長発達に関することや子育ての仕方などの相談を受け付けます。

臨床心理士が個別に面接や相談を行い、発達段階に応じた家庭でのかわり方についてアドバイスなどをします(必要に応じて各種発達検査や知能検査も行います)。

■日程

4月8日(水)、6月30日(火)、7月29日(水)、8月26日(水)、9月16日(水)、11月16日(月)、12月24日(木)、2月19日(金)、3月23日(水)

■場所 保健センター

※必要に応じて、保育所で巡回相談を実施し保育のアドバイスも行っています。

■時間 1組1時間程度

①午後1時45分～

②午後2時45分～

③午後3時45分～

■相談・問合せ

予約制のため、相談を希望される方は保健センターまでご連絡ください。

胃がん検診・大腸がん検診を受けましょう

がんは早期発見が治療のカギです。自覚症状がなくても毎年検診を受け、「異常なし」であることを確認しましょう。

☎保健センター ☎77-1891 FAX77-1970
✉hoken-c@town.shibayama.lg.jp

日本人の死因の第1位はがんです。通常健康な方が病院へ行くのは何らかの自覚症状があるときだと思いますが、がんは早期には自覚症状がないことが多く、これではすでにがんが進行してしまっていることも少なくないでしょう。早期発見ができれば、生存率が良くなるのはもちろん、治療方法も体に負担の少ない方法にでき、その後の生活への影響も大きく違ってきます。そこで、早期に発見するには症状がなくてもきちんと定期検診を受けることが必要です。

胃がん

胃がんにより亡くなる割合や胃がんにかかる割合は減少傾向にあります。胃がんで亡くなった人数を部位別に多い順に並べると男女とも第2位となっています。年齢別に見ると40歳代後半から増加し始め、男女比では男性の方が女性より多い傾向にあります。胃がん検診は、胃がんの早期発見が目的です。胃がん初期には特有の症状はなく、自覚症状から胃がんを発見するのは難しいため、毎年検診を受けましょう。また、町の胃がん検診ではバリウムを飲むため、苦手な方は専門の医療機関で定期的に内視鏡検査を受けると良いでしょう。

大腸がん

大腸がんにかかる割合は50歳代から増加し始め、高齢になるほど高くなります。男女比では胃がんと同じく男性の方が女性より多い傾向にあります。大腸がん発見の手掛かりは血便です。痔の出血によるものと間違え、うっかり見逃してしまわないよう検診を受けましょう。検診は便を2日間採って提出するだけで簡単にできます。

◆「要精密検査」と言われたら、必ず受けましょう

がん検診は、スクリーニング（ふるい分け）であり、確定診断には不十分です。「要精密検査」と言われたら、「がんかもしれない」と不安を抱えながら毎日を過ごすのではなく、異常がないことを確認するため、また必要があれば早期に治療開始できるように、精密検査をきちんと受けましょう。

◆がん検診は登録制です

新規に検診を希望する方は、氏名、生年月日、住所、電話番号、希望する検診名を保健センターまでご連絡ください。

※医療機関などで経過検査を受けている方や治療中の方は集団検診を受ける必要はありません。

大腸がん検診受診結果（平成22年度～平成26年度）

検診受診者数	2,569人
検診の結果、 精密検査が必要であった者	205人 (8.0%)
精密検査の結果、 がんであった者	7人 (3.4%)

胃がん検診受診結果（平成22年度～平成26年度）

検診受診者数	2,221人
検診の結果、 精密検査が必要であった者	302人 (13.6%)
精密検査の結果、 がんであった者	3人 (1.0%)

検診名	検診内容	対象者 (年度中に到達する年齢)	検診日	受付時間 場所	個人負担金
胃がん検診	胃部エックス線検査 (バリウム造影)	40歳以上	6月25日(木) 6月26日(金) 6月27日(土) 6月28日(日) 6月29日(月)	午前7時30分～11時 保健センター	1,000円 (検診料約5,000円)
大腸がん検診	便潜血検査 (自宅便を2日間 採取し提出)	40歳以上	胃がん検診会場および7月中保健センターで便を採取する専用容器(検査キット)を配布します。胃がん検診を受けない方には郵送することもできますのでご連絡ください。		500円 (検診料約1,500円)